

# 【鹿児島県薩摩川内市】

## 薩摩川内市 1 人 1 台端末の利活用に係る計画

### 1 1 人 1 台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申『令和の日本型教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和 3 年 1 月）等の内容並びにこれらに引き続く政府の議論等では、ICT の活用と少人数によるきめ細やかな指導体制の整備による「個別最適な学び」と、「協働的な学び」を一体的に充実し、子供たちの資質・能力を育成することを求めている。

上記内容を踏まえて、児童生徒が学校や家庭において学習やアセスメントができる文部科学省 C B T システム（MEXCBT [メクビット]）の活用や、電子黒板の導入など、デジタル技術を効果的に活用した新たな授業づくりに取り組み、個々の生徒の特性や傾向に応じた個別最適な学びを実現する。

### 2 G I G A 第 1 期の総括

G I G A スクール構想により配備された 1 人 1 台タブレット端末を、「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現に向けて活用している。児童生徒は、自分の考えをアプリを使って友達と瞬時に共有したり、インターネットを活用した調べ学習に取り組んだりするなど、端末の良さを生かした学習に取り組んでいる。また、平常時での持ち帰りも進んでおり、インターネット環境にない家庭においても音読や観察等の様々な活用が広がっている。

今後も、通信機能やカメラ、A I のサポートによるドリルなど、タブレット端末の良さを生かした学習活動での活用の仕方を工夫していく必要がある。そのためには、教職員の ICT 活用能力の向上を図ることも大切である。

### 3 1 人 1 台端末の利活用方策

1 人 1 台タブレット端末を活用し、ネットワークを使った情報共有による「協働的な学び」や A I ドリル等を活用した「個別最適な学び」の実現、インターネットを活用した「探究的な学び」の充実に努めるなど、児童生徒がタブレット端末を文房具のように日常的に活用できる姿を目指す。

そのために、情報教育担当者等研修会や ICT 活用研修会を開催し、教職員の ICT 活用指導力の一層の向上に努める。また、ビジネスチャットツールを活用し、情報共有を行う。

小規模の落ち着いた雰囲気の中での学びを求めている児童生徒が、オンラインでの学びなどを希望する場合の出席の取扱いについて、学校との連携を強化したりするなど、児童生徒の多様な学びの場の選択を支援できるような施策を推進する。

令和 2 年度に導入した端末について、令和 7 年度中に、全児童生徒分に予備機を合わせた 1 人 1 台端末の更新を行う。